

憲法かえずに政治をかえよう！

# かけはし

社会福祉法人山形虹の会  
山形虹の会と福祉を良くする友の会

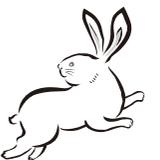
山形県鶴岡市民田字代家田100-1  
TEL 0235-25-1131 FAX 0235-25-0810

介護老人保健施設かけはし 内

## 二〇二三年新年のご挨拶

社会福祉法人山形虹の会

理事長 橘 健司



新年おめでとうございます。

昨年中の友の会の皆様からのご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。本来であれば、活発な友の会活動により、利用者の皆様に変化のある、楽しい時間をすごして頂くことができたわけですが、引き続き新型コロナウイルスの感染が収まることなく、本当に残念な状況です。

また今年二回、法人内でクラスターが発生し、利用者の皆様やご家族にご不便とご心配をおかけすることになりました。感染対策マニュアルを見直し、クラスターの再発生をさせないよう日々の対策に取り組んでいきます。

クラスター発生、物価高騰などありますが、役職員の頑張りにより、計画された事業数値の達成を目指しています。

二〇二四年度の制度改定では、介護保険料の自己負担を二割とか、改悪が検討されています。利用者に負担増を強いる制度改定には友の会の皆さまとともに反対の声をあげていきましょう。

今年こそは、友の会の活動が再開され、楽しい時間を過ごすことができたいことを願っています。引き続き友の会の皆様のご支援、ご協力よろしくお祈り致します。

山形虹の会と福祉を良くする友の会

会長 三浦澄雄

あけましておめでとうございます。

昨年の二月二十四日にロシアによるウクライナへの侵略が行われどうなるものかとみている中で新たな年を迎えることとなりました。

世界の中ではあちこちで紛争や戦闘が起きていますが、このようにあからさまに他国を侵略する行為が行われたのには恐れと驚きを禁じえません。

一昔前の時代では力による領土獲得や統治が平然と行われていましたが、現代でこういったことが起きるなんて考えられませんでしたが、私の考えが甘いのか、いやいや違う、人類はもともとと進歩している等々。

国連加盟の大多数の国がロシアの侵略を非難、ウクライナへの支援を継続しているのを見れば世界の人類の進歩はまともなのだと思います。戦争が早期に終結してウクライナ、そしてロシアの国民が安心して暮らせることを願うばかりです。

コロナ禍の中の四年目を迎えました。山形虹の会の各施設でもコロナ感染による大変な対応をせまられました。大変な思いやご苦労をされた職員の皆様に敬意と感謝を申し上げます。

なかなか防ぎようのないコロナウイルス、こういった災害に対し人間社会のあり様を考える機会になったらいいなと思います。コロナの早い終息を願いつつ。

## 二〇二二年度「かけはし文化祭」を開催

十一月一日から三十日までの期間を「かけはし文化祭」と位置づけ、感染対策をした上で、各事業所で企画した様々な行事を行いました。今回は、二事業所のとりくみをご紹介します。

給食・イベント委員会 委員長 鈴木 美幸

### グループホーム かけはし南館

#### 合唱祭を開催しました

十一月十一日に「合唱祭」を開催しました。

マスク着用、アクリル板の使用等の感染対策をしたうえで行いました。紙で作った赤と青の胸飾りを付け、二つのグループに分かれ秋にちなんだ唱歌「虫のこえ」「紅葉」などを輪唱し、歌い終わると大きな拍手で盛り上がりました。

その後、職員による大正琴の演奏に合わせて口ずさみ「きれいな音色」「珍しいから楽しかった」と笑顔で喜んでいました。

グループホームかけはし南館  
介護福祉士 鈴木 恵美子



職員の大正琴演奏



楽しく合唱

### 老健かけはし 三階療養棟

#### 文化祭に貼り絵を作成し展示

老健かけはし三階療養棟では利用者様と共に貼り絵を作成し文化祭の作品として掲示しました。

作成当初、利用者様が「私出来ねー」等と話されていましたが、職員と共に作業していくにつれ、コツを掴み綺麗に絵を貼っていました。



貼り絵作品「紅葉」

見えて「またこういうのを作ってみたい」と笑顔で話されていました。今後、空き時間を見てまた一緒に作成していきたいと思っております。

老健かけはし三階療養棟  
介護福祉士 富樫 良子

### かけ橋

コロナ禍のもとでのロシアのウクライナ侵略、中国の国民抑圧的姿勢、北朝鮮の独裁体制とロケットや砲撃による韓国や日本アメリカ政府に対する示威・牽制行動等など。

激変する政治の状況を受けてか、岸田政権は軍事費の強化、倍増を打ち出した。世界の列強の軍事費は国民総生産の二%となつていくのでそれに準じて国防体制の強化をしないと安心できないのだと。しかもロケット攻撃をする相手国の基地を攻撃できるようにもすると。これが憲法九条を有する我が国の首相が口にする言葉なのか。

憲法を守るべき立場のトップの人間がそれを無視し相手国を攻撃もできる軍事国家に日本を変えようとしているということではないか。

歴代政権が国民総生産の1%、約五兆円の軍事費の中で曲りなりに、近隣国との安心安全の関係を保ってきたのではないかと、この政府の方向転換は周辺国との関係にも大きな不安定な関係をもたらすように思える。ましてや武器の量を増やすことが平和をもたらすとは到底思えない。

軍備増強のつけは国民の福利厚生に必ず悪影響を及ぼし生活の逼迫を招く。今でさえ二割三割と値上がりしている物価に国として何らの有効な手立てがとられていないのに、この先一体どうなるのだろうか。黙って手をこまねいては

隅 爺

